

整形外科の特色

日常生活やスポーツ活動に欠かせない運動機能を支える重要な診療科です。社会の高齢化に伴い、運動機能障害を訴える患者は増加しており、当科のニーズはますます高まっています。

1. 運動器(骨・軟骨・筋肉・人体・神経など)に関する幅広い対象と多様な疾患

脊椎(背骨)から四肢(腕・脚)に至るまで、全身の運動器に関連する疾患を扱います。対象年齢も新生児から高齢者まで幅広く、各年代に特有の疾患や治療法が存在します。具体的には以下のような疾患が含まれます。

外傷	骨折、捻挫、脱臼などの急性外傷
変性疾患	変形性関節症、脊柱管狭窄症など
炎症性疾患	関節リウマチ、痛風など
腫瘍	骨腫瘍、軟部腫瘍など
先天性疾患	股関節脱臼、脊柱側弯症など
骨代謝疾患	骨粗鬆症など

2. 保存療法と手術療法の併用

患者の症状や状態に応じて以下の治療法を組み合わせ使用します。これらの治療法は、エビデンス(科学的根拠)に基づいて選択され、患者と医師との共同作業として行われます。

保存療法	薬物療法、理学療法、運動療法、装具療法、ブロック注射など
手術療法	骨接合術、人工関節置換術、脊椎手術、関節鏡手術など

3. 高齢者の生活の質(QOL)向上

高齢者の生活の質を支える重要な役割を果たします。例えば、人工股関節や人工膝関節置換術、脊柱管狭窄症に対する手術などにより、患者の痛みや機能障害を改善し、日常生活や趣味・スポーツ活動への復帰を支援します。

整形外科の特色

4. 専門領域の多様性

以下のような多くの専門領域を持ちます。これらの専門領域は患者のニーズや疾患の特性に応じて選択されます。

脊椎脊髄外科	椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症など
関節外科	人工関節置換術、関節鏡手術など
手の外科	手の外傷、神経障害など
スポーツ整形外科	スポーツによる外傷や障害の治療
骨・軟部腫瘍外科	骨腫瘍、軟部腫瘍の診断と治療
骨代謝外来	骨粗鬆症などの治療

5. チーム医療とリハビリテーション

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、義肢装具士などの多職種が連携し、患者の治療にあたります。急性期から回復期、そして社会復帰に至るまで、継続的なリハビリテーションが行われ、患者の早期回復と生活の質の向上を目指します。